

岩国医療センター跡地のまちづくりに関する住民説明会 質疑要旨

■日時 平成30年2月18日（日） 18:00～19:30

■場所 市役所 多目的ホール

■出席者 約30人

質疑要旨

福祉・交流のまちづくりに関する意見・要望等

●男性住民

- ・ 灘海園跡地は、今後どうなるのか。

○事務局

- ・ 灘海園跡地については、将来活用用地として位置づけており、活用策はまだ決定していない。市の普通財産ということもあり、連携した活用の可能性があるため、柔軟に検討を行いたい。

●男性住民

- ・ 資料の内容については、市域全体の課題や方針であり、岩国医療センター跡地とは懸け離れた問題ではないか。

○事務局

- ・ 本まちづくり構想は、全市民のためのまちづくりであり、全市民を対象にアンケート調査を実施し、市民の意向として福祉分野ごとに調査した。また、現場の生の声を聞くために、事業者ヒアリングを実施し、本市の課題として整理を行った。
- ・ それらの課題を踏まえ、対応策の検討を行い、まちづくりの方針や必要な役割等について抽出するとともに、黒磯地区の様々な課題について整理を行ったものである。

●男性住民

- ・ 「スポーツや運動を通じた健康づくり・交流を促進する機能」という方針がある。平成30年度からの基本計画・基本設計という説明であったが、グラウンドゴルフ場やパークゴルフ場のような施設が、黒磯地区に整備されれば高齢者の方が気軽に楽しめ、健康づくりにも役立つと思う。
- ・ ボランティア活動を推進する機能の必要性は理解できるが、地域活性化のためには、より小さな地域が元気である必要がある。そのためには、自治会などに対する支援策を考えてほしい。

○事務局

- ・ 健康増進等を目的にグラウンドゴルフの場所ができるかどうか検討したい。
- ・ 高齢社会を迎えるなかで、小さな単位のまちづくりや活動は重要と考えている。市民協働によるまちづくりを推進することにより、暮らしやすさや賑わいが生まれてくると考える。

●女性住民

- ・ 高齢者が多い灘地域において、医療機関の実現は是非お願いしたい。

○事務局

- ・ 市議会からの要請も踏まえ、今後も医療機関誘致の実現に向けて取り組んでいきたい。

財源・維持管理等に関する意見・要望等

●男性住民

- ・ 整備費と維持管理費はどこから出ることになるのか。

○事務局

- ・ 整備費は、防衛省の補助金を活用して整備していきたいと考えている。維持管理費については、具体的な施設が決定していないため、現段階においてお答えできない。

●女性住民

- ・ 今後、学校の空き校舎などが出てくるので、そういった施設等を有効活用できないのか。
- ・ 愛宕山の施設を含めて、将来的に維持管理ができるのか考えた場合、安易に了解はできない。

○事務局

- ・ 岩国市は平成 18 年の合併により、広大な市となり、重複する公共施設等も多数存在し、中には老朽化が激しいものや、耐震性能が劣る公共施設等もある。市民が必要とされる施設については、新たに統廃合等、リニューアルが必要となる。そうした観点により検討を行っている。
- ・ 貴重な税金を活用するにあたって、いかに財源を確保するかという問題もある。将来の維持管理費が負担となり、将来の後継者や子孫に迷惑になってはならないため、この問題は、検討にあたっての重要な課題と考えている。

●男性住民

- ・ これだけ「バラ色」のイメージを描いて本当にいいのか疑問に思う。
- ・ 施設については、防衛関係予算、また維持管理については、市の負担だと思う。市財政も潤沢でないはずなので、施設整備を行っても、将来的な維持管理が非常に気になる。

○事務局

- ・ 維持管理については、どのような運営を実施するかに係わってくる。内容、運営面の検討にあたっての重要な課題と考えている。説明会資料では、「バラ色」のような計画に見えるかもしれないが、維持管理等の運営面も含めて、施設や内容について絞込みを行っていきたい。

交通条件等に関する意見・要望等

●男性住民

- ・ 施設の入口は北側の一箇所しかないのか。南側からも進入できればよいと思う。

○事務局

- ・ 出入口については、現在の踏切の状況が最適ではないと認識しており、平成 30 年度以降の基本計画・基本設計において、計画地に至るルートを検討していきたいと考えている。

●男性住民

- ・ お寺（天叟寺）から J R 山陽本線までの道路が狭い。ここは中洋小学校への通学路になっており、先行して計画・整備してほしい。
- ・ 旧看護学校や旧医療センター駐車場の出口付近と、旧医療センターと灘中学校の間の市道について、街灯の設置をお願いしたい。

○事務局

- ・ お寺（天叟寺）から東側に下る市道を含め、計画地周辺の生活道路については、来年度以降の基本計画・基本設計の業務と平行し、必要に応じてリニューアル等を含めた検討を行いたい。
- ・ 新たな街灯の必要性等については、関係部局を通じて検討していきたい。

●男性住民

- ・ 岩国南バイパスの南伸が実現した場合、バイパスからのアクセスが本当に可能なのか疑問に思う。また、ここを拠点として整備するのであれば、新たに公共交通の整備も必要と思う。

○事務局

- ・ 岩国南バイパス・国道 188 号を含めて、この区域外のインフラについては、来年度以降に概略の検討を行う予定としており、岩国南バイパスへのアクセスについても、今後どのようなルートが設定されるのか、黒磯団地等の住民の方への利便性にも配慮しながら検討していきたい。
- ・ 公共交通については、福祉・交流のまちづくりを行う上では、高齢者、障害者、児童等、車だけではアクセスできない方も想定しており、道路整備という「ハード面」と、様々な方のアクセスが可能となるよう、バス交通等の「ソフト面」も平行して検討する必要がある。

●男性住民

- ・ 集客性の高い施設が整備された場合、国道 188 号や岩国南バイパスといった幹線道路だけでなく、計画地周辺の生活道路についてもアクセス道路として車両が進入することを懸念している。
- ・ 計画地周辺の生活道路は非常に狭い。これから基本計画・基本設計を検討するなかで、生活道路についても検討していただきたい。

○事務局

- ・ アクセス道路については、地区以外の方に対し、分かりやすい道、広さを持った道路が必要と考える。また公共交通機関も必要と考えている。生活道路については、広ければ地区外の方も通行されるため、道路としての使い分けを整理しながら検討していきたい。

市民合意形成に関する意見・要望等

●男性住民

- ・ 灘地域の方々はこの計画に関心が高く、地元の方の意向は重要なポイントと思うが、地元の意向についても示していただきたい。

○事務局

- ・ この度の構想策定に際し、昨年 6 月と 12 月に灘地区の自治会長を対象に意見交換会を行っている。その中でも、様々な地元の意見をいただき、それらを踏まえ計画を策定している。



以上